

## 豊栄病院患者総合支援センター いするぎ通信 平成30年7月

夏休みは取れますか？

今月もいするぎ通信を届けます。



### 臨床検討会のお知らせ

日時:平成30年7月10日(火) 午後6時

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

講演1: 当院における、糖尿病の多剤併用療法の実態 菊地博 先生

講演2: 当院の「看取りに対する指針」の解説 柄澤良 先生

共催:豊栄病院、アステラス製薬株式会社

●7月の臨床検討会は、糖尿病薬の多剤併用療法について、当院の実態を菊地先生が話します。またクイズ形式かな？今米国では、**米国内科学会**の新しい血糖コントロールのガイドラインがでて、**米国糖尿病学会**のものとはだいぶ違うので、混乱しているようです。米国内科学会のガイドラインの基になった論文にはDPP4阻害薬やSGLT2阻害薬などの新しい薬剤の論文が入っていないそうです。低血糖のリスクが少ないDPP4阻害薬やSGLT2阻害薬が当院でどのように使われているのか知りたい！院外薬局の先生方も参加を検討ください。後半は、当院の看取りの指針の解説です。今年3月に改訂された「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」(厚生労働省)に基づいたもので、老人施設などの方も参考になるとと思います(柄澤)。

### ●えむえすだぶいゅー日誌

初任地での忘れられない特に印象深い方が3人います。O・Kさん 43歳男性。R・K様 77歳女性。T・H

様男性。どの方も新人の私に色々なことを教えてくださいました。今回はその内の一人O・K様(Aさん)のお話をさせていただきたいと思います。Aさんは、43歳、男の子3人の父親。市営住宅で生活。休日の夕方かなりの頭痛を訴え、タクシーで救急外来を歩いて受診されました。意識も鮮明でした。ところが検査の途中状況は、大きく変化しAさんは話すことも体を自分で動かすこともできなくなってしまいました。診断名はくも膜下出血でした。回復は困難との判断はありましたがまだ若く可能性を信じ、富山のリハビリ専門の施設へ移る事など今後のことについて何度も相談をし、奥様が出した結論は、病院でやれるところまでした後は、子供たちのいる家に連れて帰りたいと希望されました。父親の存在が大切と。介護保険はまだない時代です。障害者手帳の申請や傷病手当金、障害制度の調整など奥様と一緒に各窓口へ相談に行くなどし、準備を進めました。住宅改修も行ったので、時間は少しかかりましたがご自宅へ退院することができました。退院後ご自宅での様子をリハビリ担当者と様子を見にうかがった時、病院では表情の変化が見られなかったAさんの表情に変化を感じました。また、Aさんが寝ているベッドの上で息子さん、そして遊びに来ていた子供たちも一緒に遊んでいる光景がありました。家族の力、在宅介護の神髄を教えてもらったような気がしました。Aさんたち家族、お元気ですか？(岩淵)



編集:十日町の信濃川は、宮中ダムから、最低でも毎秒40トンの放水がある。夏の水枯れがないらしい。夏でも水あって楽しいらしい。センター長 柄澤良